

浜松医科大学医学部附属病院 整形外科に
通院中の通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2017年10月10日

「思春期特発性側弯症の手術成績—思春期特発性側弯症手術に対する3大学データベースの構築—」に関する臨床研究を実施しています。

浜松医科大学医学部医倫理委員会の審査による学長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
研究課題名	思春期特発性側弯症の手術成績—思春期特発性側弯症手術に対する3大学データベースの構築—
所属(診療科等)	整形外科
研究責任者(職名)	松山 幸弘(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2022年10月9日
研究の意義、目的	思春期特発性側弯症の手術成績を明らかにすることを目的とした研究で、思春期特発性側弯症手術成績の向上に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2017年10月10日から2020年10月9日の期間に当院で思春期特発性側弯症について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など
他機関への試料・情報の提供方法	(記録媒体、郵送、電子的配信 等)により提供します
研究方法	思春期特発性側弯症患者に対して矯正手術の予定となった患者に対して、レントゲン、生理検査、アンケートなどを行う。
共同研究機関名	信州大学(責任者:高橋 淳)、山梨大学(責任者:波呂浩孝)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学医学部運動機能学教室 研究責任者:高橋 淳
問い合わせ先	高橋 淳(信州大学医学部運動機能学教室・准教授): 電話:0263-37-2659 大和 雄(浜松医科大学整形外科・助教): 電話:053-435-2299

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報削除し、主任施設である信州大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。